

**住友ベークライト株式会社 2023年3月期 第3四半期 決算説明会
主な質疑応答議事録**

日時 : 2023年2月6日(月) 15時00分 ~ 16時00分

説明者: 取締役専務執行役員 中村 隆

【全社的な事項に関する質問】

Q: 通期業績予想の下方修正により、第4四半期の事業利益は第3四半期比で28億円の減益予想となるが、内訳を教えてください。

A: 6億円程度が固定資産税の計上によるもの。残り約20億円の悪化のうち、半分近くが半導体関連材料、残りが主にクオリティ・オブ・ライフ関連製品である。

【半導体関連材料セグメントに関する質問】

Q: 半導体封止材の数量の見通しを教えてください。

A: 第4四半期の数量は第3四半期とほぼ横ばいの見込みである。低付加価値品は回復してきているが、スマートフォンなどに使われる高付加価値品は厳しい状況が続く。販売数量は第4四半期がボトムになると考えている。

Q: モビリティ戦略3製品の動向を教えてください。

A: 第3四半期で約40億円まできており、ある程度順調にきている。

【高機能プラスチックセグメントに関する質問】

Q: 第3四半期の事業利益が第2四半期より増益となった要因は何か?

A: 数量増と交易条件の改善が主な要因である。しかしながら、自動車や電子部品関連の回復は順調には至らず、足踏み状態にある。

Q: 航空機関連製品の状況を教えてください。

A: 顧客の航空機の納入機数は確実に増えているので、これから生産機数も伸びてくる。合理化効果や数量増もあり、第3四半期単独では黒字化を達成した。来期は黒字基調を定着させる年にできるのではないかと考えている。

【クオリティ・オブ・ライフ関連製品に関する質問】

Q: 業績予想で事業利益9億円の下方修正の要因は何か?

A: 建材、偏光板等の産業機能性材料の数量減が続いていることが主な要因である。

以上